

製品名: GNA13 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02013**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | GNA13 |
| 別名 | guanine nucleotide binding protein (G protein); alpha 13; G13 |
| 遺伝子 ID | 10672 |
| SwissProt ID | Q14344 |
| 免疫原 | ヒト G タンパク質 α 13 の合成ペプチド |

背景

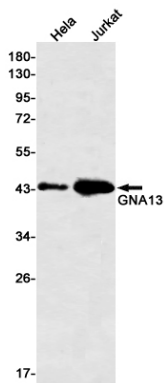
グアニンヌクレオチド結合タンパク質（G タンパク質）は、様々な膜貫通シグナル伝達系において、調節因子またはトランスデュー

サ　ー　と　し　て　関　与　し　て　い　ま　す
(PubMed:15240885 、 PubMed:16787920 、 PubMed:16705036 、 PubMed:27084452) 。 RhoGEF (ARHGEF1/
p115RhoGEF、ARHGEF11/PDZ-RhoGEF、および ARHGEF12/LARG) に結合して活性化することにより、エフェクター分子 RhoA
を活性化します (PubMed:15240885、PubMed:12515866) 。 GNA13 依存性 Rho シグナル伝達は、その後、転写因子 AP-1 (活性
化タンパク質-1) を制御します。 RhoA/ROCK シグナル伝達経路を活性化することにより、腫瘍細胞の浸潤および転移を促進する
(PubMed:16787920、PubMed:16705036、PubMed:27084452) 。 Rho 活性化とは独立して、CDH1 を介した細胞接着を阻害す
る (PubMed:11976333) 。

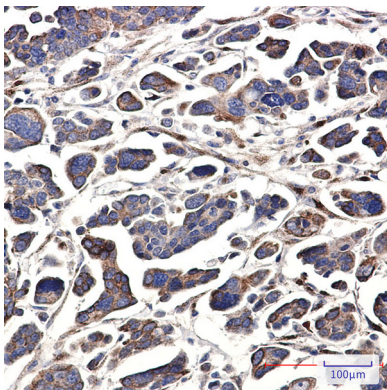
研究分野

シグナル伝達

画像データ



GNA13 抗体を使用した HeLa、Jurkat 溶解物中の GNA13 [KO 検証済み] のウェスタン
ブロット分析。



G タンパク質アルファ 13 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析
抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。